



力を合わせてよりよい奉仕

ライオンズクラブ国際協会

**333-C**

**地区ニュース**

1985-86

**No. 4**

奉仕で結ぼう心のきずな



旭市 鎌数伊勢大神宮 鎌数神楽 (千葉県無形文化財) 写真提供: 旭ライオンズクラブ



## 333—C地区 ライオンズ憲章

われわれは、ライオンズクラブ草創の原点にたちかえり、その崇高な精神を信奉し、会員である誇りと自覚をもって、ライオニズム永遠の発展に寄与するため、会員の創意を結集し、ここに地区ライオンズ憲章を制定して、その理想実現に邁進するものである。

- 1 単位クラブの尊厳と自主性を尊重しよう
- 2 奉仕の根源は愛であることを確認し心をこめて精進しよう。
- 3 友情によって相互理解と強固な団結をはかろう。
- 4 組織の簡素合理化と経費の節減につとめよう。
- 5 グッドスタンディングとは積極的参加の意欲であることを理解し指導力の開発にはげよう。



# 明けまして おめでとうございます

ライオンズクラブ国際協会  
333-C地区ガバナー

L 橋 口 一 夫

輝かしい1986年の新春を迎えるに当り、ライオンズクラブの益々の御発展と、メンバー各位の御健勝と御多幸を心から御祈り申し上げます。愈々日本ライオンズクラブも35周年を迎えることになりました。今を去る五年前には日本から初めて国際会長として今は亡き故村上薫Lが誕生されました。故Lはまた国際副会長として、三年に亘る献身的な努力を捧げられ、その指導力は、世界のライオンズより、偉大なるライオンとして、絶大な信望を得られましたことは皆様御承知の通りであります。日本ライオンズクラブが国際的にクローズアップされた今日、果さねばならぬ役割を特に新らたに自覚することが大切だと思います。

私が公式訪問を通じて感じたのは、三十五年の歴史の重みでありました。ライオンズクラブがそれぞれの地域に密着し、地域から信頼されるクラブとして、素晴らしい発展を遂げつつある事実は、長年に亘る先輩の偉大な努力と、そのリーダーシップ、それらを背景とした成果であります。

日本ライオンズクラブもいろいろな問題を抱えながらも、この歴史を踏まえ、今後の素晴らしい発展を期して小さな殻に閉じこもることなく、国際的感覚と、長期的視野に立って『限りなきライオンイズムの具現』に向けての精進を願って止みません。今年も日の出の勢いで突進しましょう。

日の出は何時見ても素晴らしいものですが、初日の出は又格別です。日付変更線の関係から、日本には世界で一番早い正月が来ます。イギリスは九時間遅れ、アメリカはもっと遅れます。正に太陽が現われようとする一瞬、人々は息をつめ、宇宙の壮大きにうたれます。この一瞬から新しい年が始まります。

初日の光は生きとし生けるものの希望の象徴であります。健全な青少年を育くみ、障害者に希望を取り戻せし

め、人道主義的愛に基づく和の社会を築きあげたいという夢の実現に身を挺する喜びと感動をそこに見出すものであります。

皆さん、一丸となって頑張ろうではありませんか。



## 御 挨拶

名誉顧問会議長

┌ 藤 田 定 男

勝と御活躍を祈って新年の御挨拶と致します。

C地区会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。安定成長と云えば聞こえはいいが、早い話が不景気の連続、今年も多くは期待できない年であるような気がします。これは世界的な傾向であって、国際協会の発表によると、世界のライオンズ会員数もマイナス成長とか。日本のメンバーも止むを得ず退会される方達が後を断たない現状である。しかしながら、この退会者数が多いのも、強ち不景気のせいとばかりは云えないのではなかろうか。日本のライオンズも30年を過ぎて今や曲り角に来ているのではなかろうか。例会のあり方、アクティビティの仕方等、真剣に見直す時期ではないかと思う。例会にしても、あまりに硬直したセレモニー化して、魅力を欠くような気がします。ライオニズムの原点である奉仕の心さえ失わないならば、もっと砕けた演出で、面白くてつい例会に足を向けざるをえないような魅力溢れるものになるよう、皆で智慧を絞って考えようではないですか。先日或る周年行事に伺った時、或る長老から、『近頃は、若い人達が全くわたらの意見に耳を傾けようとしない。つまらないからもうじき辞めるんだ』とおっしゃっておられるのを耳にした。これはクラブの特定の役員のみが独断専行するため、一般会員の希望も建設的意見も、クラブに浸透する機会が与えられていない状態で、不満と退屈のあまりクラブに魅力を失って辞めて行くケースの一つだと思います。この際、私は皆様に提唱したい。是非、月に一度、二ヶ月に一度でもいい、全員協議会のような形式をとって戴き、全員が出席して如何なる事でも、誰でもフリートーキングができる場が欲しい。『物云はぬは腹脹るる業』と先人も申しております。是非執行部も考えて戴きたい。色々つまらない事を申し上げて、そんなの『釈迦に説法』だよと失笑されるかも知れませんが、日本のライオンズの前途を憂うるメンバーの一人であるとお許し願いたい。皆様の御健





## 年頭のご挨拶

名誉顧問 元地区ガバナー

榎 智 光

新年おめでとうございます。昭和61年の年頭に当り、ライオンズクラブ国際協会各員の皆様方、並びにご家族の皆様方に新春を寿ぎ、つつしんでご健康をお祈り申し上げます。さて昨年を振り返りますと、国家的には「第一回日本国際賞」Japan Prize の行事が行われたことがあげられましょう。ご承知のように、これはノーベル賞の手の届かない三分野、即ち、(1) 情報・通信、(2) 医用工業、(2) バイオテクノロジーの工業部門を中心に、昨年3月世界70ヶ国に候補者の推薦を求め、25ヶ国から281人の候補者がノミネートされました。そして第一回受賞者に情報通信分野のジョン・R・ピアース博士（米国スタンフォード大学客員名誉教授）とバイオテクノロジー分野のエ・カチャルスキー・カツィール博士（イスラエル・テルアビブ大学教授）の二人が選ばれたのであります。日本国際賞の副賞は一人または1グループに5,000万円（ノーベル賞の賞金を上回る）で、これは経済大国日本が国際社会で新たな役割を果たさねばならないと創設された国際科学技術財団の企画によるものであります。この「日本国際賞」の晴れの授与式が昨年4月20日、東京・国際劇場で盛大に行われました。その基礎となったものは国際科学技術財団が58年5月松下電気産業と相談役の松下幸之助氏から拠出された30億円を基金に創立され、会長に松下氏、理事長に元最高裁長官の横田喜三郎氏、実行委員長には本県出身で元総理府総務副長官を二期務めて退官した川村皓章氏（現（財）国際科学技術財団の常務理事）が就任、実務家としての手腕を如何んなく発揮されたことによるものであります。当日の「日本国際賞授賞式」の盛儀には、中曽根内閣総理大臣を初め、皇太子殿下御夫妻のご臨席を賜わり、お祝いのお言葉を賜わったことは、いやが上にも「日本国際賞」授賞式が世界的壮挙であり、文化的大事業たるにふさわしい雰囲気でした。因に、日本国



際賞の性格・目的の項に、「日本国際賞」は、全世界の科学技術者を対象として創設されたもので、権威と栄誉ある国際的な賞とすることを旨としております。すなわち『科学技術の分野において独創的飛躍的な成果をあげ科学技術の進歩に大きく寄与し、人類の繁栄と平和に著しく貢献した者に与えられる』とあります。また、特別来賓として来日されたノーベル財団理事長S・ラメル博士の祝辞もあり、素晴らしい式典となりました。

参列者の多くの方が遂に日本もここまで来たのだと云う感慨をもたれたことでしょう。式典後、ホテルニューオータニ鶴の間に会場を移し、受賞者を囲んで祝宴がもたれました。理事長横田喜三郎氏のあいさつ、皇太子殿下の乾杯ので発声につづいて、中曽根内閣総理大臣、竹内科学技術庁長官の乾杯、鈴木東京都知事、外交団代表としてフィリピン共和国大使カルロスJ・バルデス氏の祝辞のあと、受賞者ピアース博士とカチャルスキー博士の謝辞、およびスウェーデン王立科学アカデミー事務総長カネリウス博士からの謝辞があり、花束の贈呈など華かな中に皆が受賞者と喜びを分かち合う、和やかな、国際色豊かな雰囲気終始した祝宴となりました。

幸いにも家内と共に陪席の機会をえましましたので、肌で感じたままをお伝えして、新年の恵物とさせていただきます。



## 「おちさん、どいて」

名誉顧問 元地区ガバナー

### 斉藤 貞雄

明けましておめでとうございます。

昨年中は本職の忙しさのために、すっかりLCの方々にご無沙汰を重ねてしまい、ご案内頂いた各種行事に欠席致したことを紙上をおかりして深くおわび申し上げます。最近体験したことを少し書かせて頂き、新年の感想とさせていただきます。

先日ある私鉄のプラットフォームのベンチで電車を待っていた時のことです。一人の中学生らしい女の子がつかつかと寄って来て、私に「おじさん、ちょっとよけて下さい」と言うのです。一瞬なにを言われているのかわからずに「えっ？」ときき返しますと、「横へよって下さい」というのです。私の両隣りは二人分ぐらいの空席がありました。しかし、その子が座れる余地は充分にあるのです。それなのになぜ私をどかさそうとするのかわかりません。そこで「どうして？」と訪ねました。すると「友だちが二人来るんです」というのです。ようやくのみこめたことは、後から来る友人二人と並んで座りたいために、私を動かしたいということだったのです。それも電車が来るまでわずか二、三分の短い時間を若い中学生が座るために、老人？の私をどかさそうとしたのです。正に開いた口がふさがらないとはこの事ではないでしょうか。事情がわかるにつれて胸の中に怒りが湧き出しました。

「どうしてまだ来ない君の友だちのために私にどけというんだね。第一、電車がもうすぐくるんだよ、それくらい待てないのかね」と厳しい口調で言うと「今度の電車には乗らないんです」とケロリとしたもので、全然悪びれたところもありません。

「君の友だちが来てから言うのならまだわかるよ、来もしないのにどいてくれはないだろう」「もうすぐ来ますから」と何をこのおじさん怒っているのだろうといった感じです。「君、今日家へ帰ったらご両親に話してご

らん、何と言うか。」「でも私たち一緒に座りたいんです」「……………」そうこうしているうちに私の乗る電車がやって来てしまったので、口論は打ち切りとなってしまいました。

まだあります、電車が終点について私が降りようとすると、折り返しの電車に乗ろうとする制服の高校生が、私が降り切らないうちにどっと乗りこんで来ました。思わずカッとなって私は大声で叫んでしまいました。「降りないうちに乗ってくるとはなにごとか。それでも高校生か……」と。

一体今の子供たちはどうなっているのでしょうか。わずか一日に体験したことで全般をはかるのはよくないこととわかってはいます、しかしその折には、今の教育はどうなっているんだろう。あれでいいのだとしながら成人してしまった将来の日本はどうなってしまうのだろうかと考えると本当に悔やしいような淋しい気持ちになってしまいました。教育問題がしきりに討議されています。みんながいろいろなことを言っています。全員が納得する一本の線にまとめることは出来ないようです。しかし最底線の常識としての公德心ある国民を教育するための方策だけはまとめてもらいたいなと願っています。

LCとしても、もっと教育問題について今年は考えてみたらどんなものかと思います。

今年もよろしくお願ひします。



## プロトコールについて

名誉顧問 元地区ガバナー

杉浦 明

新年おめでとうございます。

メンバーの皆さんがおそろいでよいお年を迎えられましたことと存じます。今年もまたライオンズのために愛の奉仕ができますことを祈念して止みません。

本年度は複合地区の会則委員長という役職を勤めさせていただいております。法律だ規則だというと、きいただけで堅苦しく感じられますが、団体が共同の活動をするためには一定の「きまり」が必要であることは論を待ちません。かといって規則にしばられて身動きできないようでも考えものです。

私は、基本的には、会則や規則は最少限度の外枠を定めるにとどめて、あまり細かいことまで縛るべきではないと思っておりますし、会則や規則を解釈し運用する場合には、いたずらに字句にとらわれることなく、会則や規則を定めた時の精神にのっとって解釈すべきだと思っております。それが、いわゆる“運用の妙”というべきものだと考えます。

ライオンズクラブの行事などで、比較的やかましく云われるのが、CNや周年事業の式典などの時の「来賓や地区役員などの席順」だろうと思われれます。

最近国際理事会で「公認プロトコール」が改訂されました。細かいことはいずれ、会則委員長連絡会議で検討され、次年度版の『ライオンズ必携』に発表されると思いますが、今年度の第25版では、「元国際理事および元地区ガバナーの紹介は新しい年代順に行う。」というように改定されました。（従来は古い年代順でした）

これは、外国では新しい方によりウエイトがかけられているという習慣があるからです。

ところが、日本や東洋の各国などでは、祖先を尊ぶという風習があります。

日本の会則委員長連絡会議では、「国際理事会の改訂を尊重し、これに従うことを原則とし、国際的な会合や

国際役員の同席される場所では、原則通り行うものとするも、国内の行事や会合の場合は、それぞれの主催者の自主性にまかせた方が、より日本的ではないか」という結論を出しました。

しかし、会則委員長連絡会議は、複合地区ガバナー協議会議長連絡会議の諮問機関ですので、同議長連絡会議で前記のように「新しい年代順に行う」と決定されたのです。

ところが最近、多くの複合地区で、それでは日本の実情に副わないので、国内の行事には、従来通り古い順に行おうという意見が出て来ているようです。

会則委員長連絡会議としては、ライオンズ必携は今回改定をしたので、これはそのままとして、別な方法で日本ライオンズの統一見解として、この問題を解決しようということになりました。

いずれの場合も、それぞれ理由のあることですので、むづかしい問題ですが、せめて日本ライオンズは、複合地区や、準地区でバラバラな運用をせず、統一ある見解を定めるべきであろうと思考いたしております。

みなさんのご意見をおきかせいただければ、参考にさせていただきますと存じます。



ハロー・オークブルック……

## 全世界ライオン誌編集長会議に出席して

名誉顧問 元地区ガバナー

L 吉原 稔 人

ダラス国際大会が終わってから三日後の6月25日と26日の両日、オークブルックの本部オフィスで、国際協会68年の歴史のなかで初めてという表題の会議が開催された。国際本部で、「お偉いさん」方の会議ではなく、ライオンズ組織の裏方さん達の正式な会合が初めて開かれたという意味では、まさに画期的であったと思う。

それに先だつダラスでは、本部の指令で8日間も滞在しなければならなかったもので、私は見知らぬ土地で初めて空港からレンタカーをかりた。ロサンゼルスでは何回も運転したが、ロスの場合、自分で車を乗り回すようになるまでかなりの「土地鑑」があった。少なくとも走っている方向ぐらいで、地図を見なくとも判る自信があったが、ダラスは全くのはじめてである。それにダラス・フォートワース空港は世界最大級の規模、日本をたつ前から「大丈夫かいな」と不安だった。たしかに、私の到着したユナイテッド航空のターミナルから見たら、となりのアメリカン航空のそれは、少しオーバーに云えば、遙か地平線の彼方にあつた。また、到着時間が午後7時というのも気になった。荷物を受取り、レンタカーの契約をして、実際に車を走らせるのは、午後8時過ぎだろうから、暗くなって方向が判らなくなったら困るなど考え、息子からボーイスカウト時代のコンパスを借りた。しかし、暗くなつたらというのは、杞憂だった。セントラル時間帯のなかでも西の方に位置する夏時間のダラスが暗くなるのは、夜の9時をかなり回ってからだった。問題は、成田をたつてから16時間、日本時間で朝の10時に夜になってしまった時差ぼけの頭で、運転し始めの数分間はまさに宇宙遊泳であった。

全米でも金持ちの都といわれるダラスのダウンタウンは、なにもなく無味乾燥の街であった。夜はまったくの



ゴーストタウンになる。人間の楽しみはすべて郊外に移ってしまつて、ちょっとレストランへ行くのにも、距離でいえば千葉ぐらいまでハイウェイを走らなければならない。ショッピングもまた同じである。従つて、本部の職員をはじめ何人かの知り合いから、“運転はスリル満点だが便利な無料タクシー”としておおいにもてることにあいなつた。運転はスリル満点と云われても、道が判らない初めてのハイウェイをきょろきょろしながら走っているのだから、当方としては致しかたない。太平洋アジア課の課長代理、日本担当のコルビス千恵子さんが、ダラスの印象を、こんなに何もかも高く、つまらない町はない。早くシカゴへ帰りたい、と“アメリカ人”が云っているのだから、そのとおりなのであろう。

さてそのシカゴだが、国際協会本部のあるオークブルックは、シカゴ・オヘア空港から南に約10マイル、ちょうど東京駅から市川までの距離に相当する。タクシー代は、郊外割り増し込みで22ドル—5千円強だから、日本のタクシー料金もアメリカ並である。途中有料道路での料金支払いが2回、各40セントである。余談だが、アメリカの都市部の有料道路の料金所には、2種類のゲートがある。表示料金分の小銭を持っている車だけが、つまり、





おつりがいない場合のみ、「エグザクト・チェンジ」の標示のあるゲートに入り、横径70センチ位の楕円型のホーン（漏斗状のもの）にコインを投げ込む。まるでおさい銭を投げ込むようにである。きわめていい加減な装置のようなので、「似たようなものじゃ駄目かね」と運転手に聞いたら、ゲートが開かないという返事だった。おそらく試したことがあるに違いない。

オークブルックは、緑濃い高級住宅地である。中堅クラスの本部スタッフに尋ねたら、「私たちの収入では、とてもこの辺りには住めません」とのことであった。協会の簿価では100万ドル—2億4千万円の土地だが、実際の価値はかなりのものであろう。本部ビルは1年半余をかけ、床面積で40%増の増築と、内部改修を行った。費用は、日本円で約10億である。これまでの事務机を連ねた大部屋システムから、一人一人の職員に個人ブースという、いかにもアメリカン・スタイルの機能的なオフィス・レイアウトに変わっていた。それぞれのブースの内部は、職員の精神衛生上それぞれ個人の自由にまかされているらしく、きちんと整理されているものから、かなり乱雑なものまで様々であった。一般的にアメリカ人は朝が早い、8時～16時という勤務時間なのに、7時になるとスタッフの姿が見えた。日本のマスコミは、日本人の働き過ぎを書きたてるが、アメリカ人の役職者の場合週70時間労働はざらである。週5日制は定着しているから、1日あたり14時間になる。違いがあるかどうかは、「休暇」の問題だけだと思う。

会議は朝9時に始まり、夕食後の自由討議が終了したのは夜10時近くであった。いわゆる休憩—コーヒープレイクは、午前・午後各一回だけで、もちろんその間も出席者相互の会話、質問は続く。それに7時の朝食時から話し合いが始まるのだから、実労働時間は、13時間に及んだ。それが2日間である。私の下手な英語は、日本語の会話と同様、お堅い話より冗談の時に特長を発揮する。しかし、米食民族は本来タフさに欠けるので、疲れてくるとそのジョークも出なくなってしまう。国際会議は、肉を食べなければ駄目だ、ということを感じた。と同時に、アメリカの一般労働者の食事、特に昼食の貧しさにも驚いた。本部で働いている人数は、約300人とのことだが、見た所その三分の二は、ブルーカラーの



労働者である。明かり取りからの採光で日本庭園が背景になっている地下の食堂は、セルフサービスのキャフェテリアである。昼食事、国際会長からおばさん労働者まで、到着順に列をつくる。勿論、地位の上下はこの場合全く関係ない。そのブルーカラーの人々の殆どの昼食は、日本の駅のホームでの「パンに牛乳」と同じであった。もっとも、私の知っている日本に出稼ぎに来ている多くのアメリカ人の食事もまた同様である。自炊している或る若い女性の「固定メニュー」は、かまぼこが具という珍妙な味噌スープにご飯だけであった。かまぼこは旨いが、味噌スープには味がないというので、よく聞いてみたら、彼女は「だし」を入れることを知らなかったのである。

編集長会議への協会側の出席者は、ロブレスキー国際会長を始め、アケスタム第1副会長、ウエーバー担当国際理事、シェッツェル事務総長、キャノン担当部長ら協会最高スタッフで、夕食会には国際会長夫妻、事務総長夫妻も出席され、国際協会がその広報機関であるライオン誌の在り方に重大な関心を持っていることを示していた。

会議の内容それ自体は、いささか専門的になるので割愛するが、二日目の晩の終わりには、誰もが別れ難い想いに包まれていた。初めて会って、たった二日会議をただけなのに、それは不思議な雰囲気であった。私の過去のライオンズ生活を振りかえってみても、それは任期を終えた時のスタッフ相互の充足感に匹敵するものだった。ライオン誌編集という創造的な仕事をしている者同志の連帯感が、タイムマシンとなって「時」を凝縮したのかも知れない。真にインターナショナルな素朴な心の重ね合いが繰り広げられた。感激屋の私は、胸のなかに



こみあげてくる熱いものを抑えるのに必死だった。

ライオン誌日本語版ここにありということを示そうと、6か月がかりで準備した細密な英文資料と協会への要望事項は、出席者の注目を浴び、私もまたささやかな知名度を得ていた。最初に「マイ・サン」といって私を抱き締めてきたのは、84才の最長老編集長、ホンコンのバット氏だった。「トシ、長生きの秘訣はね、絶対に女性を近付けないこと」と云ってウィンクをした。次はトルコのバーカダン氏だった。彼は熱烈なキスをしてきた。キスを受けながら、私はソ連人の男たちがキスするのは、昔のオスマントルコ帝国の影響かなと変なことを考えていた。僅か1,600の発行部数なのに、熱心に何度も日本語版のコストを尋ねてきたギリシャのクリストドリデス氏は、「私のたった一人の日本人の友達」と云ってくれた。

部屋に戻り、一人になって、オークブルックの静かな夜景を眺めた。「一仕事終わった」という満足感が感傷を誘い、涙が溢れてきた。

(市川ライオンズクラブ会報より転載)



## 第32回

# 333—C地区年次大会



## 年次大会の成功を願って

年次大会委員長

┌ 神宮寺 俊彌

愛称——滯つくし年次大会——ライオンズ国際協会333C地区第32回年次大会の大会委員長を拝命して半歳が過ぎ、いよいよ本番間近となりました。

なんとか無事、成功裡に任を果したいと願う毎日ですが、ホストクラブの優秀なスタッフを各ポストに戴いたのだから、万が一にも失敗は無いとは思っていても、何か予期せぬ事態が起きねばよいかと心配です。おそらくスタート前のスポーツ選手も似たような心境だろうと想像しています。まさか私如きが年次大会委員長になるなどとは、夢にも想ったことはありませんでした。

さて、地区大会は大切な決議機関であり、ライオンズムの高揚のため、融和と協調を訴え、地区発展に大いに活用されねばならない厳粛なセレモニーでございます。4Rホストクラブの英知を結集して、遠来の友を心温かく迎えたいと存じます。

ホストクラブの皆様、年次大会は単位クラブの周年行事と異なりスケールも大きく、ホスト間の意見の調整、縦横の連絡、40kmも離れた相談会議の不便さ等、種々の困難が生じて各担当部会にご迷惑をおかけするかとは存じますが、どうか忍耐強く、弾力的な判断をもって対処していただきたいと、ここに改めてお願い申しあげるのでございます。あの感激と興奮をもたらした東京における第361回マンモス世界大会、或いは各地で開催された数多くの年次大会での先輩諸兄の情熱を思い出さ

れ、この大会を少しでも理想に近い姿に運営することにより、参加者に満足していただけるよう、限られた予算の中ではありますが、是非とも皆様の手によって花を咲かせてください。

333C地区の記念すべき年次大会が、立派に有意義に開催できますよう、また私の責任と使命が果たせますよう、皆様の絶大なるご支援ご協力を心からお願い申し上げます。

333C地区第32回年次大会

開催日：昭和61年5月11日（日）

場 所：銚子市青少年文化会館

銚子市体育館

親善ゴルフ大会：昭和61年5月8日（木）

銚子カントリークラブ



## 第32回 333-C地区年次大会予算案

(1985. 7. 1 ~ 1986. 6. 30)

### 収入の部

科 目	予 算 額	昨年度予算額	備 考
前年度繰越金	1,557,458	1,819,811	
地区大会費,地区特別大会費	8,740,800	8,400,000	@ 2,400×3,642人
登録料(代議員)	2,160,000		@ 6,000×360人
“(一般会員)	6,600,000	7,000,000	@ 6,000×1,100人
“(ライオネス会員,ライオンレディ)	140,000	147,200	@ 2,000×70人
“(LEO会員)	0	0	登録料なし 60人
雑収入	200,000	100,000	
合 計	19,398,258	17,467,011	

### 支出の部

科 目	予 算 額	昨年度予算額	備 考
総務関係			
会議費	700,000	670,000	
通信費	200,000	200,000	
旅費交通費	250,000	200,000	
人件費	500,000	600,000	
アワード費	700,000	700,000	
印刷事務用品費	800,000	1,000,000	
交際接待費	200,000	100,000	
広告宣伝費	500,000	150,000	
フォーラム費	100,000	100,000	
雑費	100,000	100,000	
小 計	4,050,000	3,820,000	
総務部会費	350,000	350,000	
接待ゴルフ部会費	200,000	200,000	
登録代議員部会費	400,000	400,000	
式典会場部会費	4,000,000	3,800,000	
広報記念誌部会費	1,650,000	1,500,000	
売店食糧部会費	4,000,000	3,200,000	
輸送部会費	200,000	200,000	
記念品部会費	2,750,000	2,500,000	
レオライオネス費	150,000	150,000	
YE助成費	100,000	200,000	
青少年助成費	100,000	100,000	
雑費	200,000	300,000	
小 計	14,100,000	12,900,000	
計	18,150,000	16,720,000	
予備費	1,248,258	747,011	
合 計	19,398,258	17,467,011	



# 333-C 地区年次大会構成表



- |                 |                                |
|-----------------|--------------------------------|
| 総務, 財務, 接待部会    | 準備, スケジュール, 企画, 接待             |
| 登録及び代議員, 式典部会   | 一般及び代議員登録, 受付, 式典, アトラクション     |
| 広報, 記念誌部会       | 広報, 記念誌, 大会プログラム, 記念品, 記録, ゴルフ |
| レオ, ライオネス, 食糧部会 | レオ, ライオネスフォーラム, 弁当, 会食, 売店     |
| 輸送, 交通, 宿泊部会    | 渉外, 苦情, 交通整理, 宿泊               |



ホスピタリティの心



## 青少年健全育成に思うこと 精神的アクティビティを！

青少年対策（LEO・LS）委員長

石井 三郎

青少年対策レオ・ライオネス委員長として両クラブのお世話をさせて戴いておりますが、今迄に感じた事はライオネスクラブ、レオクラブ共に関心を持った人達が少ないということです。

これは当地区にライオネスクラブが7クラブ、レオクラブが5クラブとライオンズクラブの78クラブに比余りにも数が少ない事に一つの原因があると思いますが、これは、両クラブの責任ではなく、ライオンズクラブのメンバーである我々の責任であります。

我がクラブは年間〇〇円の金銭アクティビティ〇〇時間の労力アクティビティを致しましたと発表し、100%の出席率を誇る優秀なクラブが、その年度のクラブ目標に青少年健全育成を掲げながら、何故レオクラブを作らないのか不思議でなりません。もっとも、レオクラブを作り育成することばかりが青少年健全育成ではないと叱られるかも知れません。おっしゃる通りです。戦後の衣食住の極端に不足した時代には、少しでも空腹を満たそう、寒さから身体を守ろうと一生懸命でした。皆んなで協力しながら頑張りました。

昭和30年代の半ば、つまり1960年代になりその努力が報いられ、人々の生活も少し楽になり池田内閣の所得倍増論の発表もこの頃でした。当初10年間でGNPを2倍にすると云ったものが結果的には3倍となり、輸出を中心に経済発展のめざましかった事を記憶する方も多いと思います。

我が千葉県も臨海巨大コンビナートの建設で大きく飛躍出来ました。1970年代になってニクソンショックやオイルショックと云う大きな障害があり、資源の乏しい日本は、もはやこれまでかと思われましたが、この石油危機の打撃からいち早く立ち直ったのは欧米先進国の中で日本が一番だった事は皆さん御承知の通りです。

お陰で衣食住のどれを取っても外国に負けない豊かな

国になりました。

しかし物が豊かになるとそれに反比例して心が貧しくなるかどうか、その関係は判りませんが、今そんな状態にあると思います。

生れてから青年に達する迄に何の不自由もなく育てられた青少年に特に感じられます。

一々例をあげてもきりがありませんが、それらは子供達自身の責任だけではないと思います。

人に親切されたら「ありがとう」と云う感謝の気持は、親や学校の先生や社会の大人が子供に教えなければならぬ事だと思います。

校内暴力や自殺、今一番大きな社会問題になっている「いじめ」問題は、子供達の発育段階で常に満足感を与え続けた我々大人達の責任だと思います。いつでも自分の思い通りになると思っていたのが、成長するにつれそうならなくなった時、大きな挫折感に陥り暴力を振るい、自分を見失ってしまうのだと思います。

青少年健全育成と云う言葉は耳に心地よく響き、人々にアピールする言葉です。しかしこれ程難しいテーマはありません。ライオンズの青少年育成事業の報告を見ますと大方金銭を含む物的アクティビティです。それも一つの方法です。しかし青少年の心に立ち入る精神的なアクティビティはより大切だと思います。現実には中々できません。

そんな困難な問題に取り組む一つの手段がレオクラブの育成だと思います。

学問は学校で教わります。他人に対する思いやりの気持は、親や我々大人が教えなければなりません。

レオクラブは良い教育の場です。子供達の自主性を伸ばしながら人間としての心を鍛練する場であります。

すでにレオクラブを立派に育成している君津ライオンズクラブの皆さんには、シャカに説法ですが、地区内大



多数のクラブがレオクラブを作り育成しないという事は、  
今一つ青少年健全育成に対する取組みに疑いを持つのは  
私一人でしょうか。

(君津ライオンズクラブ会報より転載)





## 初心を省み、視野を広げよう

長期計画リサーチ委員長

北村 泰彦

### (1) 事務局運営について

年月の流れはしばしば事物を風化させる。あれほど痛い目に遇った敗戦の日の懺悔と反省を、思いもしない豊かさのなかで傲慢にも忘れることはないか。— 333 C地区草創の際に誓ったこと、定めたことの多くは概ね継承されてはいるが、なかには不満足のものも多い。— “地区憲章”への関心不足は単に不満足というよりも深刻な懸念を感じさせる。

この憲章起草に関連し新生単県一地区の生き方として行政改革を伴うことが討議された中でその具体策のひとつがCAB事務局の固定化であった。毎年度持廻りの愚があれほど非難され冗費に苦しんだあげくの解決であった筈で、如何に実情にうといと言い乍ら又ぞろ旧方式を唱えた人もいと聞く。その心情面はよく判るのであるが、私は全く別の見地から固定化の条件を考えたい。

それは固定化が齊らず一般的傾向として陥り易い地区行政姿勢の官僚的非柔軟性を常に自戒し、ガバナー、CAB幹事の意のままに動く事務所局維持に努めることである。衝に当る役員は少くとも数年間の議事録、往復公文に眼を通して置く位の心構えで、自信を持って任期に入って頂きたい。

千葉市在住のLがGOVの指示に基き身近かで事務局の運営をお手伝いすることにやぶさかではないが、重要なポストに常任的に関わること、又、それに頼られる姿勢は好ましくない。

事務局のOA機器も充実し、ファクシミリも運用されている。情報機器の発達で近い将来、TV電話によるDDG会議位は簡単に開催されよう。ガバナーと事務局との距離は格段に近づいた。機械に任す面と、公式訪問や数回のCAB会議などマンツウマンのスキンシップに一層の価値を見出すべき面とが併立してくる時代であろう。およそ人間の係る面、機械の係る面いずれも、植木

ではないが育成する過程では剪定もあり間伐もあろうというもの。機械の面、人事の面、それぞれ選択よろしきを得て決断することが望まれる。

### (2) ACTの方向について

日本ライオンズの長い習慣から、ACTといえば生活、福祉の面が強調され実施されて来た。それは喰うや喰わずの戦後の歴史と歩みを共にして来たからで、その成果は絶大であった。現在でもライオンズが手をさしのべるべき処が少くない事も判ってはいるが、国民の70%が中流意識を持ち、銀座のルンペンに糖尿病がいるといわれる御時世である。

食生活に追われる時代では考えられないACTとして献眼や献血は、いかにもライオンズらしく時宜を得ている。物から心の時代に移ったことを泌々と感ずるのである。

処でライオンズの目的として掲げられている項目のなかに冒頭の生活、福祉の他に“文化”“公德心”があることに関連して言えば、こうした“心”の領域への奉仕活動に、これからは心を砕いてみようというのも一つの行き方ではあるまいか。“物”でないと奉仕の実感が少ないということはあるまい。金額に換算できない“献眼”“献血”のため当地区のマンスリーレポートに別欄を作ったが、その裡“心”の領域、文化の領域の多様化に対応する「別欄」にテンテコ舞いし、揚げ句の果て、ACTの集計、特に金額集計、ひいては即アワード対象の空々しさに思い到ればなんと清烈なことであろうか。

私は今、市川LC15周年の際、「ライオンズ文化大賞」の提唱を鮮明に思い出している。

(3) 明年は“国際平和年”であることについて云えば、西側も東側あつての“平和”に意義がある訳である。本年は“国際青年年”ということでこの国連主唱テーマにライオンズも大いに乗ったが、明年はどうなるか。





ライオンズは政治を押しつける訳ではないからといっても、あるクラブで考えたように共産圏にエクステンションしようというのは一寸無理のようだ。

併し、中華人民共和国天津市に吾々より先輩クラブが戦前結成された経緯をみても、彼地に全く土壤がなかった訳でもなく、又政治ほど当てにならぬものもない。ある日気がついてみたら米中は我が国の頭越しに和解し、追隨して台湾と疎遠にならざるを得なかったではないか。

そこでライオンズが政党に拘らないのはモッケの幸い、余りに自らを政治の枠組に金しぼりにし過ぎて、東

側の人々との間に人道に基く事柄にさえ、ためらいを感じずることはあってはならないと思うが如何。

変転極りない、多様化の世界、いつどんなことでライオンズのパワーやACTの向け先きを西側に限らないことがないとは言えない。我々の知性が、自由社会の賜であるという自信のなかで懼れるものはないと思うさなか、折しも米ソ会談が開かれている。

真の平和は、東西のことで西の身内のことでないならば、せめて視野は広くしておきたい。

(第2回キャビネット会議議事録より転載)



## 健在なり！ライオネスクラブ

(ライオネスクラブ連絡会議11月13日)

地区運営特別委員長

池澤 稔

われわれの若かりし日、愛謡歌として「妻を娶らば、才たけて眉目うるわしく、情ある」と口ずさんだものであった。文字通りその歌の文句にある様な女性達が、一堂に集まって思い思いに越し方をふり反り、これからの往くべき道を述べる、そんな楽しい会合が去る11月13日11時30分から千葉市のホテルニューツカモトで開かれた。

集まった人達は県下のライオネスクラブの三役さんと親クラブ連絡員の方々と、橋口ガバナー、石井ライオネス委員長、広部4R PR情報委員と池沢事務局長が出席した。ここにクラブの活動状況のあらましを、報告した発言の順序に従って略述しよう。

クラブ名	会員数	活 動 状 況
木 更 津 金 鈴	26	1. 全員がボランティアの登録をした。 2. オークションによる収益で皮のメガネサックを作って老人ホームのおとしより達に贈って喜ばれた。 3. 清和県民の森でライスカレーの接待をした。
館 山	19	1. 館山海岸のゴミ拾い。



		<ul style="list-style-type: none"> <li>2. リサイクル品バザーの収益で養護施設の人達に会員の作品を寄贈した。</li> <li>3. L. C. I. F. に全員2弗献金。</li> </ul>
君 津	22	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. フラワーポットの手入れと管理。</li> <li>2. ふるさと祭りでバザーをやりその収益を社会福祉事業のために活用した。</li> <li>3. 献血に参加14万ml。</li> </ul>
君 津 中 央	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 空かん拾いの清掃作業に参加。</li> <li>2. オークションの収益で寝たきり老人の慰問。</li> </ul>
袖 ヶ 浦	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 敬老会を開いておとしよりを慰問。</li> <li>2. 献血運動に協力した。</li> </ul>
船 橋 中 央	22	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 小栗原中学の管弦楽団の育成。</li> <li>2. 献血に協力。</li> </ul>
千 葉 京 葉	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. レオクラブ研修会に奉仕作業。</li> <li>2. 市内養護施設運動会に参加し慰問。</li> <li>3. 市内中学校の合気道大会に奉仕。</li> </ul>

これらのアクティビティは報告されたものの一部を紹介したにとどまるけれども、その内容を見ると女性ならではの考え及ばない様な心のこもった奉仕、行き届いた配慮がうかがえる。

そして親クラブをのり越えた一段の活性化が現わされ

て頼もしい限りであった。

その将来への展望も紅い気焔のほとばしり出るものもあって、なんとも楽しく時間のたつのも忘れる様な集いであった。お集りの皆さんに有難とうと言いたい。



1985～1986年度  
第2回キャビネット会議議事録

1985. 11. 23 於 千葉京成ホテル

## ガバナー提出議案

### 1. 次期ガバナー立候補者の件

1986-87年度、地区ガバナー候補者として館山L.C.所属、平井勇Lを推薦いたしたい。

(参考)

333-C地区ガバナー候補者推薦手続規則に規定する書類完備

(決議)

提出議案通り了承

### 2. 第32回年次大会予算案

別紙の通り

(決議)

原案通り承認

### 3. LEO委員多田武次L(市川東L.C)死去に伴い竹内十記男L(市川東L.C)を後任に任命いたしたい。

(決議)

提出議案通り了承



## ガバナー報告事項

1. 7R PR情報委員 平本喜一L(東金L.C)死亡に伴い7月21日付をもって、辻利兵衛L(東金L.C)を後任に任命した。すでにキャビネット構成員名簿は訂正済である。





## 幹 事 報 告

キャビネット幹事 L 豊 福 和 磨

## 1) クラブ会員数および会員数の推移

	クラブ数	会 員 数	入 会	退 会
1985年7月1日	78	3,552		
9月30日	78	3,524	77	105
増 △減	5	△ 28 死亡 (6)		

## 2) ガバナー公式訪問

1985年9月1日より、1985年11月4日の期間中に、全クラブの公式訪問を終了（各ゾーン単位）

## 3) チャーターナイト

1985年10月27日、松戸ユウカリLC（スポンサー 松戸LC）のチャーターナイトを流山市日本閣にて開催した。

## 4) YEについて

冬期来日生7名（オーストラリア4名、ニュージーランド3名）を受入予定

## 5) レオクラブ

5クラブ 108名 （9.30現在）

## 6) ライオネスクラブ

7クラブ 149名 （9.30現在）

## 7) 奉 仕 活 動

1985年7月～9月末累計

金銭ACT	560件	54,994,622円
労力ACT	387件	38,890時間
献 血	35回	934,000CC
献眼登録		185名
献 眼		1名





### 333-C 地区より選定した複合地区役員

(L)

会 則 委 員 長	杉 浦 明
” 委 員	手 塚 勇
Y E 委 員 長	林 隆 而
” 委 員	江 畑 耕 作
レオライオネス委員	石 井 三 郎
献 眼 推 進 委 員	秋 場 寛
長期計画指導力開発委員	吉 田 政 勝
国 際 大 会 委 員	榎 智 光
緊急援助資金委員	橋 口 一 夫
ガバナー協議会管理委員	豊 福 和 磨
監 査 委 員	斉 藤 貞 雄
ライオン誌日本語版委員	吉 原 稔 人
日本ライオンズ合理化 推 進 委 員	渡 辺 惇
年 次 大 会 顧 問	藤 田 定 男



# ふれあい 会員の声

## 自己評価

(4R 1Z 東庄LC)

### 高木源三郎

今年の3月末日で40余年の教職の道から定年退職した。思えば長い道程であった。教諭時代、教頭時代、校長時代と、それぞれに思い出は澤山あるが、中学校長としての後半にライオンズメンバーとなることができて幸せであったとしみじみ思っている。

6年前、輝やかな伝統と活動めざましい東庄ライオンズクラブに招請され、メンバーに加えて頂いたことは、現職中は勿論であるが、退職した現在でも誇りに思い、身体の続く限りライオンズの一員として活動を継続して行きたいと願っている。

6年前の入会式(この時は2名入会)に、当時の会長斎藤より「ライオンと呼ぶる人」についてのお話を聞き、それが私自身のライオンズメンバーとしての生活信条となり今日に至っている。

それにつけても同時入会の友人をみていると、真に素晴らしい生き方をしておられ、私などはとうてい彼の足下にも及ばない。

彼に見習うべき点はいくつもあるが、このことは他のメンバーについても同様に折にふれ成る程と感心し、感銘を受ける。

そこで、私も自分なりにライオンズマンとしての自己評価表を作り、機を見ては自己採点し、また愚妻にも評価してもらったりしている。

なるべく高い点をとりたいものと修養努力につとめてはいるものの、なかなか希ったようなわけにはいかないのが実状である。

とはいうものの、やらないよりはましで自己を顧みるという点では幾分でもプラスになるようだ。

評点は各項目10点とし、100点満点である。観点は10項目で国際協会の目的、スローガン、モットー、ライオンズの誓い、ライオンと呼ぶる人、の中から自分なりにとり出した。

- 1.自分の与えられた仕事に忠実であったか。
- 2.小さな奉仕を黙って実践したか。
- 3.つねに微笑をたたえたか。
- 4.幼児たちにも親しまれる態度であったか。
- 5.他人の行為に美点を見つけられたか。
- 6.知性を高めるための努力をしたか。
- 7.寛容の精神で行動できたか。
- 8.批判を謙虚に受けとめられたか。
- 9.物事に対する判断は適切であったか。
- 10.地域社会のニーズに目を向けたか。

この10項目について評価をしているのだが、どうも己の評価は甘くなりがちで愚妻に評価させると、これになかなか厳しくて80点の合格点は、一度として与えられたことがない。私が点数に悄然とし、自己嫌悪に陥りそうになると「努力する姿勢がたいせつなのですから」と慰めともおだてともとれるようなことを言って励ましてくれたりしている。

まあ、一生かかっても100点満点はとれないかもしれないが目標を決めて努力することは、無為に過ごすよりはましかもしれない。

少しでも「ライオンと呼ぶる人」に近づけたらということはいつも念頭にある。それが私の日常生活を規制しているといってもよい。衿のラベルボタンに恥じないようになりたいものだ。

ライオンズのメンバーになったことで私はこれまでよりずっと広い視野で物が見えるようになったし多くの得難い友人にも出会えた。

昔は人生50年といわれたが現在はそうも言うてはいられない。退職後のこれからこそが生き方次第で有意義に過ごせるか悔いを残すかが決まる。

つまりめ自己評価と笑う人もいると思うが、私は私なりにすこしでも向上したい、役に立ちたいと常にこれを心のよりどころにしている。

小さな庭の寒椿が今を盛りと咲いている。誰に見られずとも可憐に花をつけているのを見るといとおしくなる。「がんばれよ」と声をかけたくなる。

ライオンズの一員として私も、人しれずの善行を積み重ねて行きたい。

「思っているだけではいけませんよ。実行あるのみ」と愚妻に言われそうだ。



彼女にもいつの間やら「ライオンズ精神」が、だいぶ

浸透したようだ。

## 「敬老」を思う

(4R 2Z 旭LC)

会長 L 金谷 貢

人生80年の時代となりつつある現在、80才を過ぎて尚かくしやくとして元気で活躍されている老人がふえつつある反面、私共が社会福祉事業の一環として行う老人慰問の対象となるねたきり老人、ボケ老人等の医療介護、リハビリ、福祉など、国、地方自治体等の措置の増強はもとより望まれるところながら、われわれも又自らの問題としてこの老をとらえ、年老いて尚いつまでも元氣

で活動出来る様、まづ少肉多菜少塩多酢の健康法を守り、常に頭をつかい読書、俳句、和歌等に精を出す事、といわれておりますがさて、わかっていても毎日の実行がこれまた大変むづかしい。

以前には世界一の幸せとは西洋館に住んで中国料理をたべて日本の女性を妻にもつこと、といわれましたが今、世界一不幸なことは英国のメシ(まづい代表)を食べ、アメリカ人の妻(悪妻の見本)を持ち、日本のウサギ小屋に住むことだそうです。

経済大国日本の汚辱の払拭のためにも老人パワーはまだまだ健在であらねばなりません。

## 『ライオニズム』についての講話を聞いて

(5R 2Z 君津ライオネスクラブ)

会長 L S 長谷川 翠

十一月の例会で、名譽顧問杉浦しをお迎えして「ライオニズム」について、ご講話をいただきました。

本論に入る前、お話をする側の立場から、資料を色別カードにより大別され、日頃から努力を積み重ねられているご様子を伺い、「一朝にして成らず」の思いに深く感銘致しました。

ライオニズム=愛。すべて愛から出発しているライオンズクラブ。愛についての解説を、歴史的、哲学的にされました。創始者メルビンジョーンズの、ライオニズ

ムにいう「愛」とは、無私の愛、無私の奉仕、であると。

多くの人と出逢い、感激し、忘れることのできないことを通して、愛の根源とは「思いやりの心であり、自分を犠牲にして相手に尽くすことです」と。

お話のエキスは、十分に私達メンバーの心に深く深く、しみ込んで参りました。

私達の地域も、やがて東京湾横断橋ができ、国際的な役割りを担うことが、夢ではなくなる時、この「ライオニズム」の光りがますます輝きを増すことを信じます。



## 周年式典・事業

### 私達のC. N. 20周年記念式典

3 R 1 Z 成田LC

L 山内 克己

「国際的な友愛と奉任」をモットーの20周年式典を無事終了し、参加クラブの御協力に心から御礼申し上げます。

華美に溺れずとて、御多忙のなか参加下さる皆様に、如何に御満足いただけるか。

少しでも宴会の時間を多くすると共に、ラッキーカードを廃止し、会費の総てを還元する方針でした。又外国の人達と接する機会の少ない皆様に交流の場をと、各航空会社に協力依頼し、また珍しい人形等をお買上げいただき、売上金を全額飢えるアフリカの子供達に役立つチャリティーバザールを実施。余興は和洋でと、先ず成田山新勝寺の伝統舞楽。次で英国伝統のバグパイプの吹奏と各委員会が奔走し、無事に式典を終了することができました。お陰様で義金も40余万円集り、式典のア



クティビティとは別に前記目的を果たすことができました。今後も世界に困ったひとびとがあれば、少しでも御役にたてるよう精進努力する方針です。

### 千葉若潮LC, CN10周年記念式典レポート

3 R 2 Z 千葉若潮LC

L 内田 佐太臣

昭和51年6月19日、千葉京葉LCのスポンサーにより産声をあげてから、太田東LCとの姉妹クラブ締結、千葉ポートLCをスポンサーし、各種のACTを行なっているうちに、10年の歳月が過ぎ、昭和60年11月24日、千葉グランドホテルに於てCN10周年記念式典を迎えるに至った。

記念式典は三部からなり、第一部式典は司会を若王子Lが受け持ち、式次第にしたがい滞りなく行なわれた。山中Lの歓迎の挨拶に続いて、3R、DDGの矢田Lが





橋口ガバナーの祝辞を代読、次いで千葉京葉LCの村田L及び太田東LC石倉Lの祝辞と続いた。記念アワードは、千葉市親子写生大会ACTに協力を得ている千葉市教育委員会造形部会の9氏、サクラクレパスの早藤氏、千葉そごう店長の宗像氏、献血ACTの啓蒙に尽力いただいた袖ヶ浦養護学校々長の大網氏、当クラブの例会場とし常に御世話ねがっている千葉グランドホテルの能勢L社長、スポンサークラブの千葉京葉LCの村田会長Lに感謝状が、当クラブの長期在籍会員及び歴代会長に感謝状の贈呈がなされた。

記念ACTは①当クラブが親子写生大会を毎年行っている千葉公園に三面角型太陽電池時計塔、②青少年健全育成の一助にと千葉少年少女オーケストラに育成資金、③千葉市内少年少女三団体（ボーイ及びガールスカウト、海洋少年団）に育成資金、④努力が実ってようやく実現した財団法人千葉県アイバンク協会に助成金を、各団体の代表者に目録の贈呈がおこなわれた。

来賓祝辞、祝電披露、伊藤会長の謝辞……で第一部式典は終り、続いて第二部の記念演奏会に入り、千葉少年少女オーケストラが日頃きたえた腕を披露。林氏の指揮で曲目はハイドン作曲『おもちゃの交響曲』他2曲で約30分間の熱演であった。

第三部祝宴はダンス・マシーン・フィリピンズの舞踏と山内康治とSool Eyesの演奏が和やかに打ち解けたムードをかもし出した。ダンス・マシーンの舞子さんとのバンブーダンスや写真もいい記念になったと思った途端、アー無情、ドネーションをどうぞ!!御陰様で136,000円也が集まり、一部を千葉日報社の福祉事業団基金に寄付。

第四部は太田東LCとの懇親会が行なわれた。短時間

で充分懇親ができぬうち、名残りを惜しみつつ解散。  
世界のために We serve better together.







## 鴨川ライオンズクラブの成人式 (CN20周年)

6 R PR情報委員

L 庄司 兼次郎

1965年に結成された鴨川ライオンズクラブ(会長武藤源L)が20周年をむかえ、11月24日鴨川グランドホテルにおいて20周年記念式典が行われた。式典には長谷川鴨川市長、辰馬天津小湊町長、斉藤県議会議員等、協会関係として、333C地区ガバナー橋口一雄Lをはじめ姉妹クラブである京都鴨川LCがライオンレディーを含めて45名、スポンサークラブ館山LCの他ブラザークラブ300余名を迎え、幹事山田栄治Lの司会により開会、関国蔵(L)式典委員長の歓迎の挨拶のあと、磯貝(L)事業委員長より記念事業が発表された

(1)献眼登録(会員全員)

(2)魚見塚展望台に記念植樹(梅、桜)

(3)身障者施設「ありんこの会」より作品の買上げ

(4)青少年不良化防止交通安全のライオンズタワー設置

(5)ライオンズベンチ贈呈20脚

(6)ライオンズくず籠贈呈20脚

(7)鴨川市天津小湊町小中学校へ関L揮毫扁額贈呈

以上の目録贈呈及び永年勤続会員の表彰等があり式典を終了、続いて祝宴にうつり鴨川LC鶴谷ライオンレディーの居合道、川崎LC会員でプロの東京コミックのショー、ゾーン内の朝夷LCの押元文三Lのプロ級の奇術等のアトラクションがあり、盛会裡に幕を閉じた。





# アクティビティーズ

3R 1Z 四街道LC

拝啓

さわやかな秋の好日が続いておりますが、皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃、本校の教育につきましては、何かとご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。

先日は、皆様のご好意によりまして、落花生掘りにご招待をいただきまして誠にありがとうございました。

お忙しい皆様が、わざわざお世話下さり、子供達も沢山いただいて大喜びでした。

校内の生徒達もおいしい落花生と大好評で、職員と共にくれしい一日でした。

どうぞ会員の皆様によりしくお伝え下さい。 敬 具

四街道ライオンズクラブ（視聴力障害者、福祉）による盲学校落花生堀大会、16年前より毎年千葉県立千葉盲学校小中高生及び職員約150名を招待し行なっております。

本年は、10月16日、さわやかな秋晴れのもと広田3R 1Z ZCにもご参加頂き、小学部中学部高等学部そして職員を含め120名が参加しました。

同じ年代の子供を持つライオンが多く、随所に目がしらを熱くして奉仕されておりました。

しかし障害があっても、強く生きて、幸せになって頂きたい。その為にも我々ライオンズは力の限り奉仕を続けたいと思います。



大型バス2台に分乗、小学部より到着、会員の歓迎を受ける。

ライオンズのおじさん、  
どうして落花生と言うの？  
花が落ちたところに実がなるからだよ。  
独特の勘で鋭く観察している。





# アクティビティーズ

5R 2Z 君津LC

苦心の準備の末実施した献血Act.

受付821名、採血733名、採血量146600ml（千葉県で一日に必要とされる80%強の量と聞きました）。



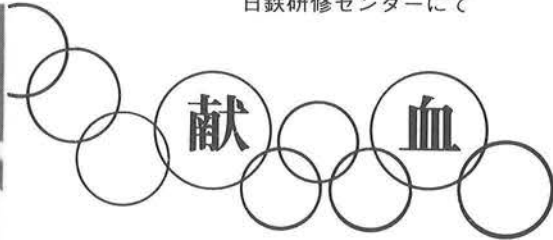
献血の受付もベテランになりました。  
白石（美）LS、坂井LS



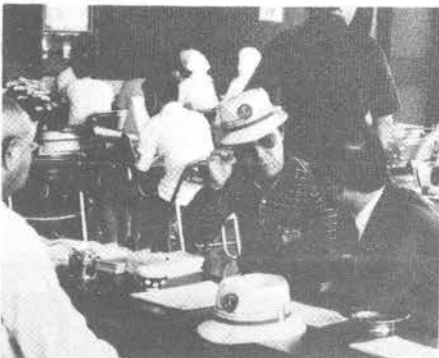
待ち時間に話しがはずむ  
日鉄研修センターにて



会長粕谷L 委員長石井Lと仲よく並んで受付



忙中閑あり  
晴天に恵まれ何よりでした。



↑ 献血について説明する幹事齊藤L



上総LC、会長田丸Lも応援献血に  
会長松本（笑）LS 高橋LSのサービス



#### 5 R 2 Z 君津ライオネスクラブ

親クラブの7月例会で交通安全講演会が行われ、LSの代表も参加致しました。千葉県はワースト4。木更津、君津の死亡事故が特に多く、市民のモラルの問題ではないか、と指摘されました。10月8日奉仕デーは大々的にこの問題に取り組もうと親クラブ会長からの提言があり、ライオネスも全面的に協力する事になりました。交通安全協会や、交通課の署員さん数名が応援に来て下さり、PM3:30~5:00チラシ千枚を配布、大成功でした。また、安全ベルト装着を呼びかけたところ、女性ドライバーのほとんどが装着していなかったという点で私達LSも大いに反省させられました。

#### 6 R 1 Z 館山ライオネスクラブ

(LS 伊賀 京子)

- (1) 継続奉仕活動のひとつとして、館山駅前ロータリーの清掃があります。観光館山を唱えている館山市の玄関ともいべき駅前が汚れていてはいけないと、この仕事が始まりました。作業は毎月第3火曜日の午後、鎌を手に草取りやごみ拾いに汗を流しています。以前は蘇鉄、椰子、椿等、樹木が多かったのですが、現在は色とりどりの花を中心として駅利用客の心を和ませています。





(2) 館山市洲宮に養護施設「ひかりの子学園」があります。この学園で行われるバザーにも協力しています。バスケットやキルティングの手提袋、和紙で作る眼鏡スタンドや可愛いポックリなどを全員で手造りして贈っています。

(3) ゾーン合同アクティビティの献血の時には受付と、採血を終えた方達に飲物や菓子等の接待もしております。







## 地 区 行 事 予 定 表

月	日	曜	記 事	備 考
11	24	日	鴨川LC20周年記念例会	鴨川グランドホテル
	〃	〃	千葉若潮LC10周年記念例会	千葉グランドホテル
	26	火	内局会議	銚子市
	29	金	第2回333複合地区ガバナー協議会	東京
	30	土	YE冬期来日生受入家庭オリエンテーション	千葉市
12	3	火	内局会議	銚子市
	5	木	オーストラリアYE生来日	成田空港
	7	土	YE夏期派遣生選考会	千葉市
	10	火	内局会議	銚子市
	15	日	ニュージーランドYE生来日	成田空港
	17	火	内局会議	銚子市
	〃	〃	YE来日生歓迎会	千葉市
24	火	内局会議	銚子市	
1	7	火	内局会議	銚子市
	8	水	オーストラリアYE生帰国	成田空港
	14	火	内局会議	銚子市
	21	火	〃	〃
	25	土	高校生弁論大会	千葉文化会館
	〃	〃	ニュージーランドYE生帰国	成田空港
28	火	内局会議	銚子市	
2	2	日	市川LC25周年記念例会	東京
	4	火	内局会議	銚子市
	9	日	第3回キャビネット会議	千葉市



## 編 集 だ よ り

3 3 3 C—地区ニュース編集委員

皆様の御協力によりまして333—C地区ニュースもNo.4の編集を終り、残るはNo.5とNo.6のみとなりました。今日までの収載文を読み返してみますと、会員として反省させられる記事が多いのを感じります。333—C地区3500名の皆さん、地区ニュースはあなた方全員のものなのです。記事を役員の皆様方の投稿だけに頼ることなく、どしどし投稿してください。第5号が投稿のチャンスです（おそらく第6号は大部分が年次大会の記事で占められるでしょうから）。随筆結構、所感結構、しかしあまりライオンズクラブに拘ると、つい筆も進まなくなるかも知れませんか、より自由な文章を戴ければと思います。原稿を書くのは面倒くさいかもしれませんが、役員の方々に負けないよう、メ切の2月末日までには是非沢山の原稿を寄せられますよう期待いたします。

## お 知 ら せ

：物故会員： 謹んでご冥福をお祈り申し上げます

下総中山LC 故L 神山義春（昭和60年11月22日）

P R 情 報 委 員 長：L青野虎二

P R 情 報 委 員：（L）今井喜美男，高橋重成，富山幸一

椎名英夫，廣部辰雄，庄司兼次郎

辻 利兵衛

地区ニュース編集委員 L林 寛躬

” L須藤節也

昭和61年1月20日 印刷

昭和61年1月20日 発行

発行所 千葉市問屋町1番55号

シーオービル6F

ライオンズ国際協会 333—C地区

キャビネット事務局

印刷所 銚子市新生町1 4 9 1

（株）三友舎印刷所

TEL 0479—22—1810